

「民族共生の象徴となる空間」整備による白老町活性化推進会議

第1回理事会

平成27年7月30日（木）

13:00～14:30

役場第2会議室

次 第

1 開 会

2 議 題

(1) 現在までの取組み経過について ※資料1

(2) 今後の取組みについて ※資料2

- ・ 先進地視察研修
- ・ 「推進プラン」策定

(3) 象徴空間周辺環境整備に関する国との調整について ※資料3

(4) 部会報告 ※資料4

(5) アイヌ議連の対応について

3 閉 会

平成27年度「民族共生の象徴となる空間」整備による
白老町活性化推進会議 理事会 議事録

日 時 平成27年7月30日（月）13時から14時30分まで

場 所 白老町役場 第2会議室

出席者 理事：8名、理事者2名、事務局(部会)担当者：4名

(事務局)

- 第1回目の理事会を開会する。

(資料1「現在までの事業計画報告」に添って説明)

(資料2「今後の取組について」に添って説明)

(資料4に添って説明)

(資料3「象徴空間周辺環境整備に関する国との調整について」及び参考資料に添って説明)

(理事)

- 今後部会を中心に活発な意見交換があると思うが、士気が上がると思うので町長にも是非出席をお願いしたい。

(理事)

- 象徴空間周辺環境整備のイメージを考えたのは誰か。

(事務局)

- 役場が主体で話し合っただけで決めた。

(理事)

- 駐車場は離れた場所に作る必要がある。博物館に近いと来る方は便利が良いが、そこだけ見て帰ってしまう。町での滞在時間を少しでも長くするため、無料の駐車場を少し遠くに作るという案も入れて欲しい。

- 博物館が真ん中に来るとするのは決まった話なのか。

(事務局)

- 基本計画では決まっていない。大まかには決まっていて、B案で言う駐車場Aの横のから左。今のアイヌ民博よりも西側である。

(理事)

- 去年場所が地盤の関係等で中央の方へ変わりそうだと話があった。もともと博物館ゾーンというのはイベント広場の前くらいにあった。中央の方が、インパクトがありいいという意見もあった。自然と共存するという景観を重要視するのであれば山、湖、チセなどが見える景観にはならないので、前の位置の方が景観は良いのではないかと。将来何10年もある物だから町の意見が大切ではないか。

(事務局)

- もともとはその場所だったのだが、文化庁が範囲を広げた。設計業者が決まってから業者が場所等を決めるのだと思う。

(事務局)

- 景観を取るのか、来た人が満足するのかという違いがある。博物館検討委員会の決定事項なので、決まっていない部分で要望を出した方がよい。3月の時点で白老町の立場として意見を述べて、いろいろ検討した結果今の物になったという事をご理解いただきたい。

(理事)

- ゾーンが大きくなっているという事は左側の方になればいいイメージになるかもしれない。何を主として公園をみるかと考える必要がある。

(事務局)

- 色々な意見が出て、博物館から見た湖、山を考えていた。ただ実際には博物館に窓はあまりない。建物から見えるのか、出た所で見えるのかいろいろな考え方があの中、設計業者がどのような設計図を書いて来るかということになる。

(理事)

- 駐車場は国が整備しないという事か。

(事務局)

- 身障者用の駐車場、関係者の駐車場は国が整備する。一般駐車場は国が担当すると収入が国庫に入ることになるので、できれば白老町で作って収益を上げた方が良く考えている。

(理事)

- 食事が出来ないので1時間位しか滞在してもらえない。50分博物館 10分お土産屋という商売をやってきた。個人客がエージェントを通じてくる場合、だいたい3泊4日のコースに含まれている。今回の国立博物館が出来ることにより、見る時間も多くなり滞留する時間も多くなるはずで、登別に寄らずに白老に来る客が増えるのではないかという話があった。人の流れに対応して組織体も新たに変えてみたりするかもしれない。ただ施設整備だけであそこに人が集まるとは思わない。一番大切な食事が見えてこない。道の駅で食べる食事ではなく、団体食の受け入れ態勢が整備された中で、時間がとれば多少遠くても問題ないと思う。食事がないとエージェントが仕込めない。いくら魅力があっても1時間の滞在で通過してしまう可能性がある。そこをどう考えるか。

(JTB総研)

- 食事は大事である。団体は昼食の場所から行程を決めたりする。バスが入るという事は食事のことは必ず考えているので食事場所はあった方がいい。

(理事)

- そういう事も考慮して施設の場所を決めるとか、駐車場なり、物販の位置取りを考えるべきである。ゾーンの中には難しいのか。

(事務局)

- ゾーンの中はまだ策定計画が決定していないので要望の余地はある。ただあまりに大きい施設は無理と思う。小規模の施設をいくつか作る方向で要望していく。

(理事)

- 基本構想の中に飲食店はあるのか。

(事務局)

- 体験学習施設の中に伝統食を体験するスペースが想定される。博物館の中にはミュージアムカフェがある。

(理事)

- 中では伝統食で、それ以外の飲食施設を外に点在させる形になるのではないかと。骨格が決まった時に食やお土産の事も話し合えばよいのではないかと。

(事務局)

- 滞留時間を長くするためには駅の南まで入れると良いのではないかと考えるが、それもこれからである。

(理事)

- 国による土地の買い上げがポロト地区で多ければ多いほど助かるが、町とのつながりが見えてこない。滞在時間さえあればどこであろうとも満足して帰るのではないかと。ここだけで飲食、土産、物販がまわるのがいいのか、周辺を含めた基盤整備をした方がいいのか。滞留期間の中で商店街にもつなげる方がいいのではないかと。図面だけでは足りない。駅裏もあるのだから駅もこのままという事はないと思う。そちらの方に町としては力を入れて具体案を考えるべきではないかと。

(事務局)

- 駅裏をどうするかというのは大きな課題である。駅から博物館に行くまでの間をどのように埋めていくかが非常に大事なポイントである。部会でたたき台を作り、理事会で話し合うと良いであろう。

(理事)

- ポロトの場所は渋滞があるだろうからどう解消するか、JRの特急が止まればいいがそれはできないだろうし、基本的には進んでいなければいけない部分ではないかと。それに合わせて何をどう配置していくかというのは商店街が考える所であって、渋滞の解消やJRの南北をどうつないでいくかというのは必須だと思うが、町としても動かないといけないのではないかと。

(事務局)

- その検討については、昨年からは部会でやっている。

(理事)

- 白老の町をどうしていくかということ。これなら鉄北に軸を置いてやろう、という案もある。さまざまな交通機関でくるだろうがどう考えるか。
- 博物館はいいが、町のイメージがどういうところにあるのか、絵が全然描かれていないからそれに対して我々がどのように対応して、町づくりをしていくのかということが見えない。町としてのイメージがなければ、町づくりも出来ないし、その辺の作業と一緒にやっに行かないと博物館だけ成功して町はどうでもいいのかということになる。その辺はどうなのか。

(事務局)

- そのとおりである。町の具体的計画は今年度中にまとめる。

(理事)

- 商工会が動いて商店街をまとめていくことをして行かなくてはいけない。動線の流れだけ確定してそこにどういうものを展開させるかを早く取り組む必要がある。温泉施設にしても具体的にどのようなものかということをして話していくことなど、国が決定する前に先行してやっはいけないのか。
- 商店街の空き店舗は、店をやめても住居が一緒なので住まいだけ利用しているという空き店舗が大多数である。どうにかしようと思ったら住んでいる人たちをどうにかしなくてはならない。新しい公営住宅でも建てて引っ越してもらわなくてはならない。1年や2年では無理なことである。町の方針を示してもらわないと動きようがない。
- 中のイメージは国がやるが、大事なのはこれに伴った町づくり、活性化である。博物館は出来るが町づくりは時間がかかるので方向性を決めて、町並みについては商工会が商店街の希望を取りまとめてやっっていくのがよい。商店街の北と南で調査したが、ほとんど関心がないというのが多かった。
- 国にやってもらえるものはやってもらうべきだと思うし、町にお金が入って来るものなら平行しながらやっっていくのも1つだ。物販施設をミュージアム施設ではなく離れたところに置くことによってはたして購買意欲がわくのか、その場で見て感動して買おうという気持ちになるが、一度出たしまえばどうなのかと思う。国の施設の中にテナントとして入れてもらうのも1つだと思う。出来る事なら、素人がいろいろ言うよりプロのコンサルタントを入れる時期に来ているのではないか。

(事務局)

- 中にテナントで入る場合、九州博物館は敷地内にレストランがあるがコーヒー1杯 800円、スパゲティ1,800円。国にテナント料を払うので価格を高くしないと商売にならない。利用料を安くしてもらっ交渉をするか。それなら近くに地元の人が商売する場所を作っ整備してそこに誘導するような形がいいかと思う。あくまでもこれはイメージである。

(理事)

- 温泉施設などは町の財産だから、町民で運営して町民に還元できるようにであればよい。

(事務局)

- 各団体がそれぞれの見方で町づくりを考えていくとよい。国のやる事業の情報を流し、周辺をどう整備していくかである。今、町としての方針とか方向性とか話があったが、理事会の中で十分に声を貰いたい。役場庁舎内、関係部署で話すという方法もあるが、各団体の方向性を踏まえて進めて行きたい。思惑の違い、スピード感の違いがあるが、このような会で色々な意見が出ると良い。

(理事)

- 会議ばかりでなく集約した中でスピード感を持って具体化していかななくてはいけない。
- 役場がやるわけではないが、主動してくれなければわれわれは動けない。
- 方向性と具体案は違うし当事者でなくてはわからないので、活性化会議とは別に実効的な事を会議する実行委員会的なものを合わせてやっていく時期に来ている。

(事務局)

- 町の方では今言われたことを踏まえて、実効的な協議の場を設けることを検討して進めていくこととしてよいか。

(理事)

- 良い。

(事務局)

- 本年度第1回目の理事会を終了する。

資料 1

平成 27 年度 事業経過報告

月 日	事業内容	補足説明
【全体】		
4 月 20 日 (月)	白老町活性化推進会議総会	H26 事業報告、H27 事業計画 活性化基本構想策定
7 月 29 日 (水)	合同学習会	まちづくりの運営手法について
【理事会】		
7 月 30 日 (木)	第 1 回理事会	今後の取組み、国との調整について
【幹事会】		
7 月 30 日 (木)	第 1 回幹事会	今後の取組み、国との調整について
【事務局】		
4 月 27 日 (月)	第 1 回事務局会議	平成 27 年度の取組み方針の確認
5 月 15 日 (金)	第 2 回事務局会議	作業スケジュール、運営手法
5 月 25 日 (月)	第 3 回事務局会議	新・地域再生マネージャー事業
7 月 13 日 (月)	第 4 回事務局会議	4 部会合同会議に係る打ち合わせ
【専門部会】		
6 月 5 日 (金)	教育学習部会	組織構成、今年度の取組みについて
6 月 16 日 (火)	情報専門部会	組織構成、今年度の取組みについて
6 月 30 日 (火)	活性化専門部会	組織構成、今年度の取組みについて
7 月 14 日 (火)	4 部会合同会議	今後の取組み、国との調整について
7 月 23 日 (木)	基盤整備部会	今後の取組みについて
【議会】		
4 月 15 日 (水)	調査特別委員会	国・町の経過と予定

6 月 29 日 (月)	<p>「象徴空間活性化推進プラン調査・策定委託業務」に係る審査会を実施 ・プロポーザル方式で進め、3 者からの提案を得る。 ・選定委員会による採点の結果、最高得点者の(株) J T B 総合研究所を最適提案者とし、契約に係る協議を進めることとした。</p> <p>【委託業者】 住 所：東京都千代田区鍛冶町二丁目 6 番 2 号 業者名：株式会社 J T B 総合研究所 契約締結日：7 月 1 日</p>
--------------	--

今後の取組みについて

1 先進地視察

- ・各部会にて視察先を検討し9月までに実施する。

A班 情報・教育部会

B班 活性・基盤部会

2 「推進プラン」策定

STEP1 具体的な取組みの検討 8月中

①施策ツリーの作成（たたき台）

②JTB総合研究所からのアドバイスをいただきながら進行

STEP2 議会調査特別委員会 8月ごろ

・「推進プラン」策定に係る進捗状況の報告

STEP3 具体的な取組みの検討（H28年度予算要望のための）

①施策ツリーの具体事業の順位付け

②経費積算

STEP4 平成28年度事業費要望 10月中

STEP5 案の最終検討

STEP6 案の完成

STEP7 パブコメの実施 2月

「民族共生の象徴となる空間」整備事業の推進について

昨年6月、アイヌ施策推進会議を経て、「象徴空間整備管理運営基本方針」が閣議決定されるなど、「アイヌ政策を推進する議員の会」の皆さまの御尽力と感謝を申し上げます。

現在、白老町では、先住民族アイヌの文化振興・発展の拠点となる「民族共生の象徴となる空間」の整備について、国へ具体化に向けた検討をお願いしているところであります。

つきましては、

- 1 施設名称の早期決定
- 2 アイヌ古式舞踊公演のためのホール・大会議室の整備
- 3 文化伝承事業に係る人材育成事業の継続

これらにつきましては、多くのお客様を迎えるためには、必要不可欠なものと認識しているところです。

5年後に迫った公開に向け、引き続き整備事業の推進に特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年8月1日

「アイヌ政策を推進する議員の会」

会長 今津 寛 様

「民族共生の象徴となる空間」整備による

白老町活性化推進会議会長

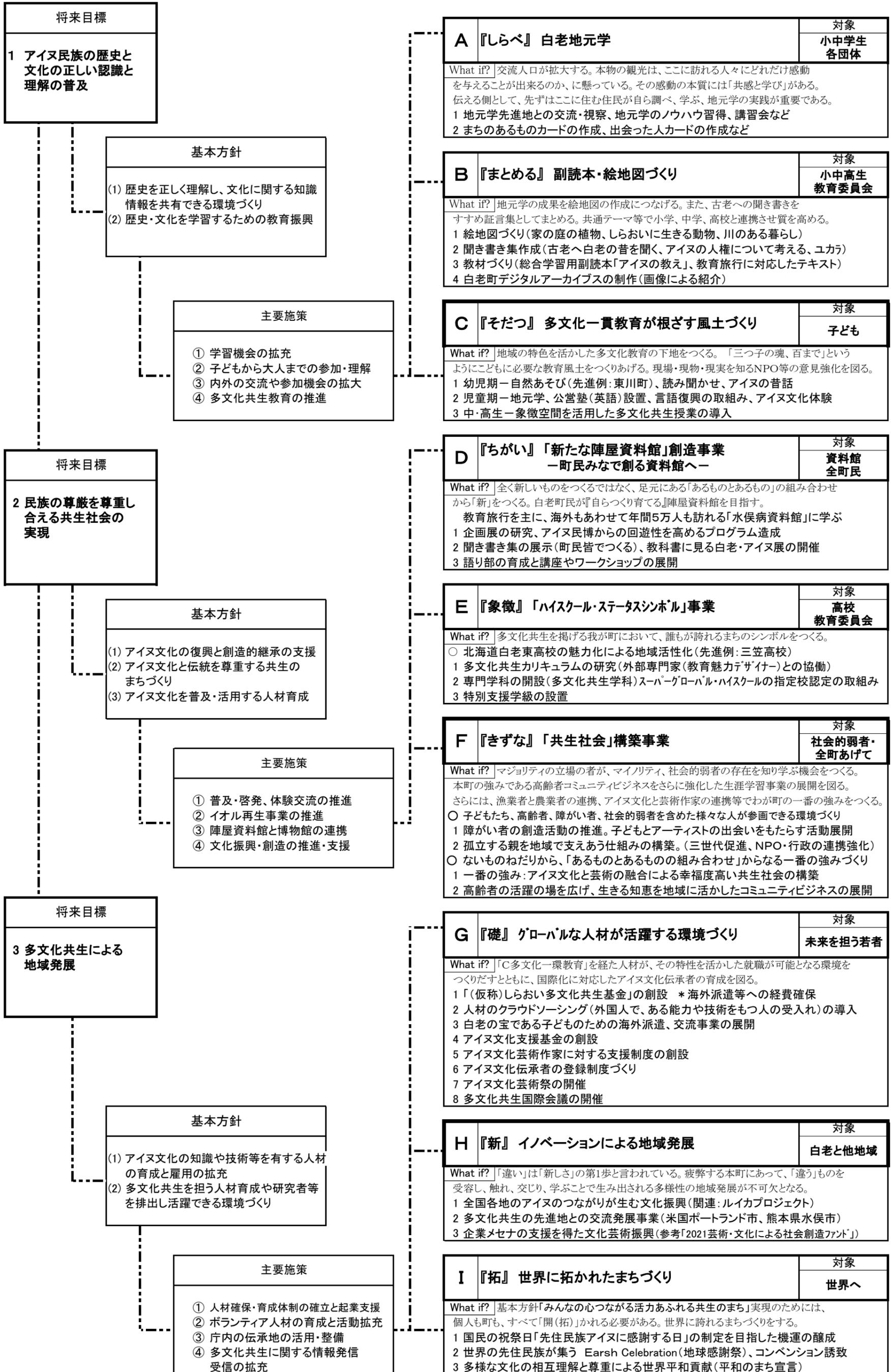
白老町長 戸田 安彦

部会報告

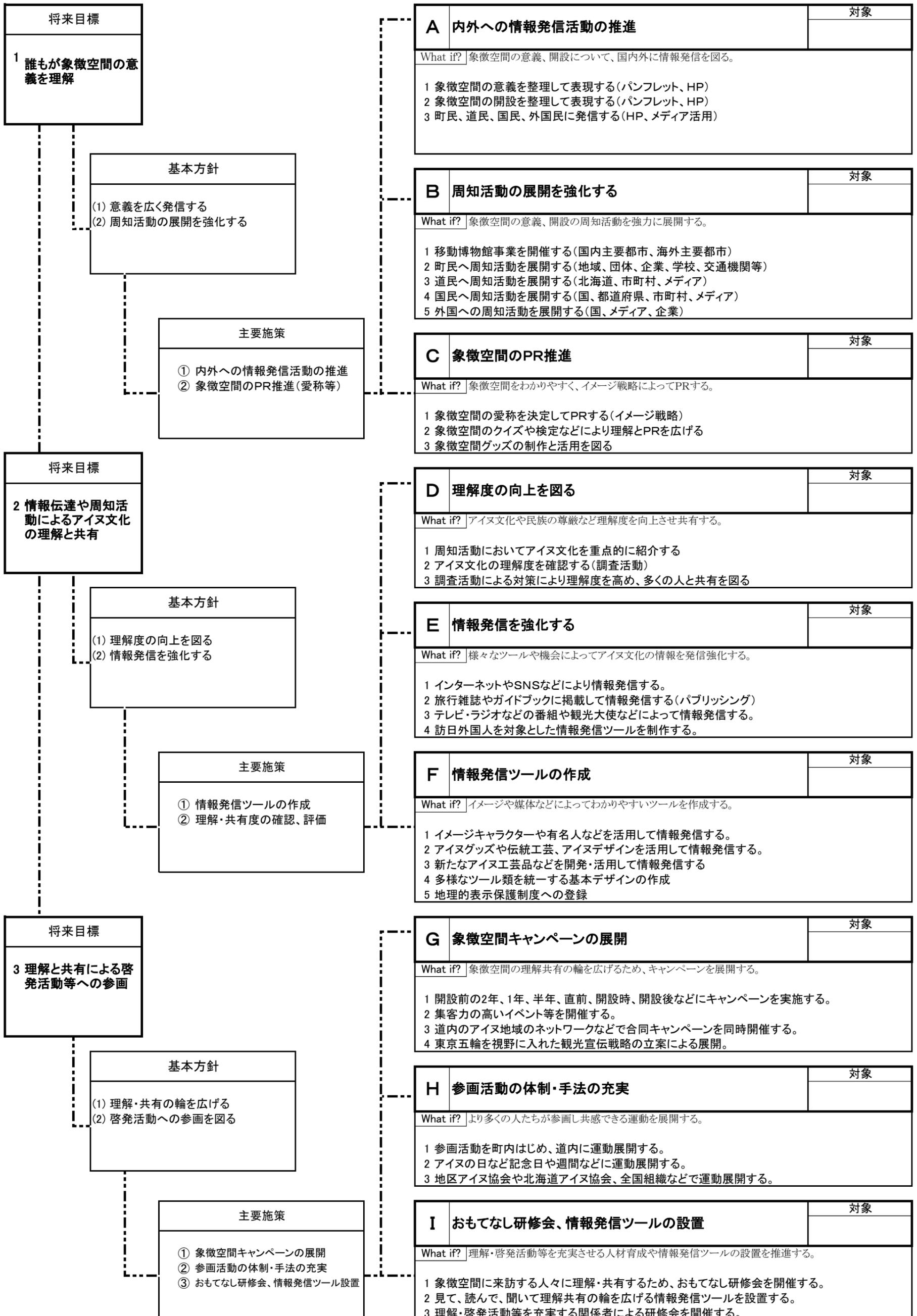
部会名	報告内容
基盤整備部会	<p>1 先進地視察について</p> <p>①視察先について</p> <p>阿寒湖：街並み形成を視察</p> <p>富良野：富良野マルシェ2の「まちなか元気」事業視察</p> <p>②日程について：2泊3日を想定</p> <p>2 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程：7月23日（木）16時から</p> <p>②協議事項：象徴空間周辺整備イメージ図に対する意見集約</p>
教育学習部会	<p>1 先進地視察について</p> <p>①視察先について：阿寒と知床を中心に日程を組み立てる。</p> <p>②日程について：2泊3日を想定</p> <p>2 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程：7月29日（水）17時から</p> <p>②協議事項：教育学習部会オブジェクトツリーにかかる計画案作成</p>
活性化部会	<p>1 先進地視察について：事務局案をもって決定する</p> <p>2 活性化部会における主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実際にどれだけの人が来ることを想定しているのか。本当に100万人来るのか。それによって取り組みも変わる。 ・宿泊施設の記載に関して、新規宿泊施設の開設や、閉鎖施設の再開とあるが、既存の宿泊施設について何も触れられていない。新しい物よりも、既存の宿泊施設をどう活かしていくかを盛り込むべきである。 ・項目が多く、今後優先付けが必要になってくるのでは。 ・より多くの人に来てもらうためには、事前の宣伝広告が大切になる。 ・豊富な食材を全国に広める。 ・交通機関（電車等）の増便が必要。 ・四季彩街道を通年通行にすべき。 ・「先住民族アイヌに感謝する日」の制定などは、今すぐ取り組むべき。 <p>3 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程：8月初旬を予定する</p> <p>②協議事項：今回示されたツリーとこれまでの部会の議論を踏まえながら計画の肉付けをしていく。</p>

<p>情報部会</p>	<p>1 先進地視察について：教育学習部会と連携しながら進めていく。</p> <p>2 情報部会における主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現段階では、既存のものを活用し、広報・フェイスブック・HP等で発信していく。 ・年配の方には、広報と同時配布ではなく、個別に町内回覧しないと見ない。 ・「象徴空間」という言葉ではイメージがわからないので、建物のイメージ写真があれば、もっと興味を持つと思う。 ⇒来年度、公園の基本計画が出来るので、目で見えるチラシやポスターを予算組して作成したい。 ・アイヌ文化でおもてなし、という意味では、社台～虎杖浜までをアイヌ文化でデザインした町にするのも良いのでは。 ・例えば、役場や町の施設名にアイヌ語の名称を付けたり、町民に馴染ませたら良いのでは。 ・小さいときから取り入れて、聞きなれることで、吸収しやすい。アイヌ文化に反対の人は、国立博物館も反対という事になるので、その人達をいかに理解させるのが役割。 ・年齢別に認知度が違うので、小さい子にグッズを配布し、興味を持たせる。 <p>3 次回の開催及び協議内容について</p> <p>①開催日程及び協議事項：今後、月に1～2回は、部会を開催する。 その他、随時、個別にでも話しを受ける</p>
-------------	--

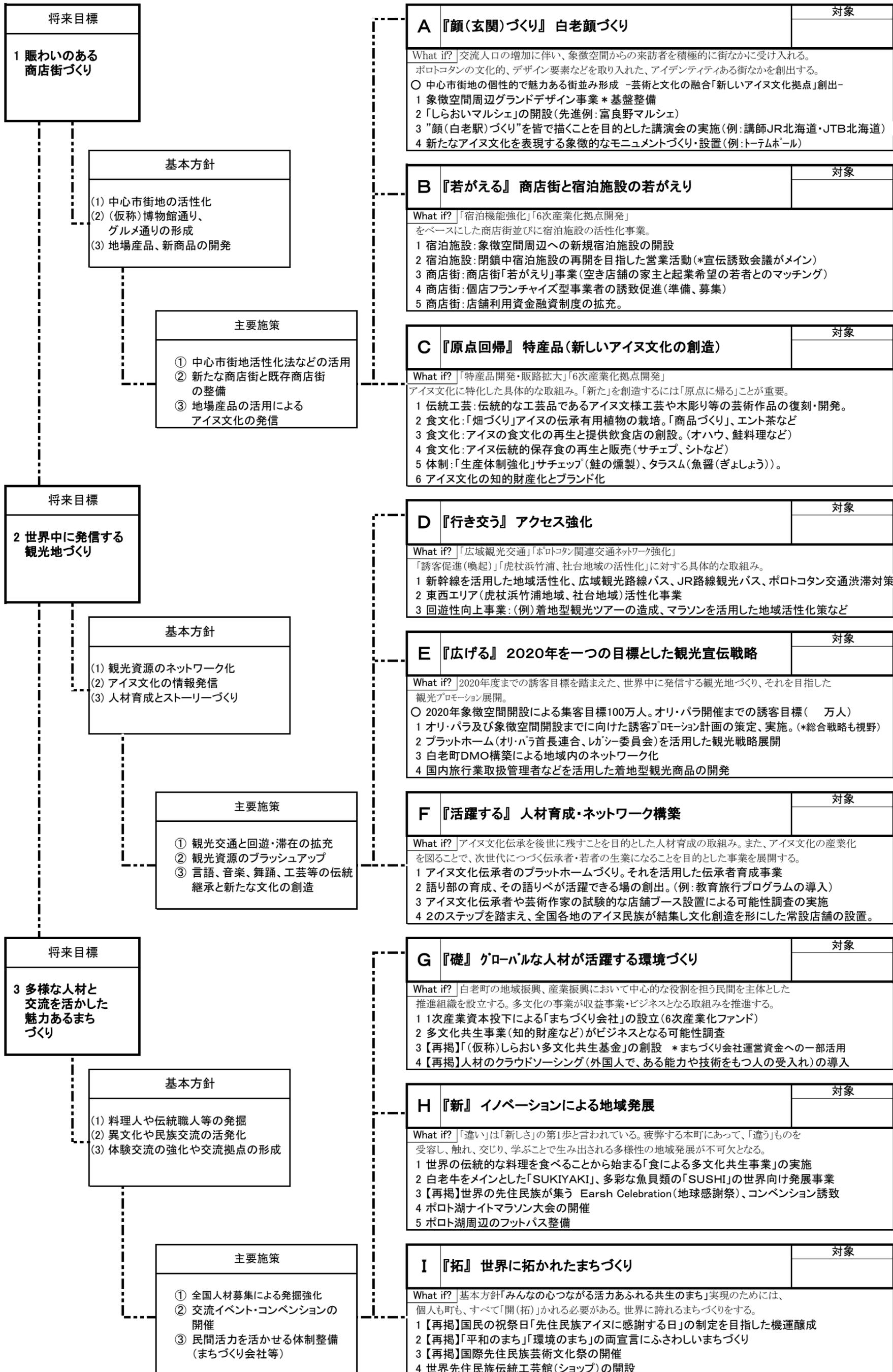
Object Tree(教育部会)



Object Tree (情報部会)



Object Tree(活性化部会)



Object Tree(基盤整備部会)

